令和6年度（5年度実績） 総合評価書　＜施設名　多治見市小泉公民館　＞

1．指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2．指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3．業務の範囲	（1） 小泉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 （2） 小泉公民館の使用許可に関すること。 （3） 使用料の徴収に関すること。 （4） 公民館事業の実施に関すること。

4．採点表

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 （40点）	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(118%)=利用率(31.8%)÷26.9%(上記②適用)	105%以上:5点	平均値比（%）＝（R5年度実績）÷（過去2年間実績平均値） 大ホール : 50.2%（平均値比 109 ＝ 50.2 ÷ 45.9） 研修室（大）: 47.9%（平均値比 121 ＝ 47.9 ÷ 39.5） 研修室（小）: 33.8%（平均値比 121 ＝ 33.8 ÷ 27.9） 和室（1）: 25.1%（平均値比 121 ＝ 25.1 ÷ 20.8） 和室（2）: 22.7%（平均値比 105 ＝ 22.7 ÷ 21.7） 料理実習室 : 9.6%（平均値比 171 ＝ 9.6 ÷ 5.6） 多目的実習室 : 32.9%（平均値比 121 ＝ 32.9 ÷ 27.1）	5点
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目　前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降　指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合　他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(135%)=利用人数(延べ48,2331人)÷35,726人(上記②適用)	105%以上:5点	平均値比（%）＝（R5年度実績）÷（過去2年間実績平均値） 大ホール : 20,630人（平均値比 129 ＝20,630÷15,965） 研修室（大）: 8,771人（平均値比 137 ＝ 8,771 ÷ 6,386） 研修室（小）: 2,828人（平均値比 133 ＝ 2,828 ÷ 2,128） 和室（1）: 3,602人（平均値比 137 ＝ 3,602 ÷ 2,621） 和室（2）: 2,617人（平均値比 131 ＝ 2,617 ÷ 1,992） 料理実習室 : 844人（平均値比 216 ＝ 844 ÷ 390） 多目的実習室 : 4,657人（平均値比 141 ＝ 4,657 ÷ 3, 314） 図書貸出:4,284人（平均値比146 ＝ 4,284 ÷ 2,932）	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況（仕様書内）(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施（軽微）:8～7点 仕様書の一部不実施（中程度）:6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P151～154 ①小泉公民館まつり (1)ドリームオンステージ（506人）、(2)ココロのハンドメイド展（460人） ②地域意識醸成事業 (1)春・秋ウォーキング（34人）、(2)おおはら探検隊（120人） (3)こいずみワクワクまつり（698人）、(4)こいずみ寄席（2回、143人） (5)ふれあい小泉共催ラジオ体操（24回358人） (6)北栄地域包括支援センター共催介護予防教室（2回28人） ③市民健康づくり事業 （1）らくらく筋力アップ体操（12回320人）、(2)市共催コグニサイズ（2回26人） （3）認知症サポーター養成講座（39人） ④親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業 (1)おひるねアート（3回25組）、(2)かけっこしながら体力アップ（3回33人）	仕様書以上　14点	①公民館まつり「ドリームオンステージ」は30回、「ココロのハンドメイド展」は31回を数え、利用団体の発表の場として定着。ステージでは照明、音響の演出を充実させ、出演者が気持ちよく発表できる環境づくりに努めている。 ②活性化委員会が実施してきた「ふれあい広場」を、地域が主体的、継続的に実施していけるよう支援し、「ワクワクまつり」という新しいスタイルでの成功に寄与した。 ③小泉小学校と連携やPTA活動を支援している活性化委員会をサポートし、児童のまなびや学校との協働に取り組んでいる。 ④子育て世代の孤立がないように時代やニーズにマッチした参加しやすい事業を企画。公民館デビューのきっかけとなる取組みが行われているほか、子どもの運動不足解消や運動能力向上へとつながる講座を提供。	14点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る　2～0点	年次報告書P154～162 ①林にこりコンサート（130人）、阿南杏佳マリンバコンサート（181人）、コーロビバーチェコンサート（90人） ②オアシスカレッジ（34回607人） ③リトルカレッジ（10回136人） ④サロン事業　（1）クラフトかふぇ（3回37人）、(2)エンジョイ・オアシス（4回408人） ⑤こいずみオープンサークル（23回219人） ⑥フロントギャラリー（20展40,300人） ⑦中高生支援事業 （1）スタディーオアシス（22回152人）、(2) 中学生ボランティア（18回215人） (3)はじめての鉛筆デッサン（1回、4人） ⑧VIVA！マナビバ（165回845人）	期待以上　13点	①「地元のアーティストを紹介」をコンセプトに、これから活躍が期待されるアーティストを発掘し、いち早く地域に紹介。ファーストコンサートを特別なものと捉え、このコンサートをきっかけに地域の活性化に寄与。 ②生涯学習の場、仲間づくり、健康増進などを目的とした「オアシスカレッジ」、「リトルカレッジ」ではニーズに合わせて人気事業の拡大に努めている。 ③幅広い世代が参加し、中学生ボランティアが運営する「エンジョイオアシス」では、子どもたちが人前で特技や自慢を披露する場を提供。自己肯定感の向上に繋がる事業に取り組んでいる。 ④定期利用団体の継続支援として体験会を実施。会員増加、利用時間延長など、団体、新規会員、公民館にとって喜ばしい結果に結びついている。 ⑤中学生支援事業として「小泉ボランティアズ」を立ち上げ。地域の期待が中学生のモチベーションにつながっている。	13点
	施設管理状況 （25点）	(1)施設管理業務の実施状況（10点）	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正（普通）:2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P163 ①施設内清掃を実施（毎日）・業者による全館清掃を実施（年1回） ②屋外清掃（梅雨前、台風シーズン前に葉っぱや土砂の撤去を重点的に実施。草木の手入れなどは複数人の地域ボランティアの協力があった。） ③季節の花を飾り、いつも賑やかな玄関周りに設えている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			年次報告書P163 ①交換部品の生産が終了しているエレベーターの点検を毎日実施。異音がする場合はすぐにメーカーへ連絡を入れる緊急体制を整えている。 ②消防設備保守点検（年2回） ③空調機器設備保守点検（年4回） ④机や椅子、ホワイトボードなど日常的に使用する備品の点検（ネジのゆるみ等） ⑤太陽光パネルの発電の確認を毎日実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			年次報告書P164 ①開館時間の保安業務、機械警備を委託し実施（毎日）。業者と連絡をすぐにとれる体制を整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			年次報告書P164 ①有償修理　9件、総額469,447円 館内照明を積極的にLED化し、電気使用量の削減に努めた。印刷機は不具合の都度修理し、延命に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握（施設の瑕疵）			年次報告書P165 ①エレベーターは交換部品もなく、不具合の場合の施設利用への影響について危機意識を高めている。 ②犬走りの雨漏り箇所が数か所あり。大規模修繕の要望済み。 ③市の各関係部署との情報共有に努め、適切な対応法を確認。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2		(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上：3点 適正（普通）：2点 一部不備あり：1点 不備あり：0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P165 ①市ファイリングに準じて文書管理を実施。 ②利用申請書の管理方法を団体ごとに変更。状況に応じてスムーズに対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P165 ①節電対策として緑のカーテンで涼感を醸し出す取組みを実施。 ②LED照明の切り替えを順次実施。5年度は館内すべての非常灯を交換。 ③地域ボランティアの協力を得て、緑化管理を積極的に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P165 ①大ホール・多目的実習室の出入口で手すりを設置。 ②玄関に車椅子を配置。必要の際すぐに利用できるよう心掛けた。 車椅子利用者のエレベーター使用時は、職員がサポート。 ③廊下や手すり周辺の日常点検を実施。動線に障害物がないよう心掛けた。 ④視力が弱い方や高齢者にも楽しんでいただける「大活字本」の貸出をした。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P165 ①利用者にとって使いやすく、片づけやすいよう倉庫内の整理整頓をした。 ②交換時期が近い備品も丁寧に使うことを心がけ細かなメンテナンスも加えた。 ③日々の点検で経年劣化等の不具合を放置せず、発見後は素早く修理や買替をした。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P165 ①特に受付での個人情報の取り扱いに留意。 ②個人情報保護への高い意識を職員で共有。書類の保管はキャビネット内に徹底。 ③会場へ持ち込みむ名簿（簡易版）などと保存用（個人情報含む）を使い分け。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする（事故なし及び事故等の対応に不備なし：0点、事故等対応に不備あり：△1点）	2件のケガがあり、施設加入の保険にて対応。（サークル活動中の転倒により、右肘骨折と首のむち打ち）	事故なし・対応に不備なし 0点	適切に対応しており不備なし。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上：5点、105%未満～100%：4点、100%未満：3点	収入25,289,872円÷支出25,973,975円＝97%	100%未満 3点	【参考】令和元年度98%、2年度92%、3年度96%、4年度99%	3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 （15点）	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上：10～8点 適正（普通）：7～5点 不備あり：4～1点	年次報告書P167 ①「こいずみワクワクまつり」は「ふれあい広場」を見直した初の試み。持続可能なイベントにしていくために地域住民主体の事業に移行した。PTAや地元企業との協働により、スタッフの若返りとマンパワーを確保。 ②令和3年度に続き図書整備を実施。図書館との連携を強化。高齢者向けの大活字本の貸出や新着図書、話題本、雑誌の充実、図書館で予約の多い本を充実し、大幅に貸出冊数が増加。 ③地元のアーティストにスポットを当て広く地域住民に紹介するコンサートを2本実施。問合せ、キャンセル待ちが過去最高で大きな反響を得た。	期待以上 9点	①長年続いてきたイベントを見直し、地域や住民が主体的、継続的に行っていけるようサポートに努めた。公民館がコーディネート役となり、立ち上げ支援、後方支援が行われている。 ②特に中高生の利用が多い小泉公民館の図書室において、彼らが安心して利用できる環境づくりが日々行われている。 ③地元のアーティストを発掘しコンサートの場を提供することで、本人の自信や希望に繋げる取組みとなっている。地域との日ごろの情報交換が人財の発掘に繋がる、良い事例となっている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上：5点、適正（普通）：4点、不備あり：3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント（アピール）が 期待以上：15～12点 適正（普通）：11～9点 普通未満～物足りない：8～0点	年次報告書P168.169 ①中高生が集う公民館 (1)図書室、ロビーの年間利用者数4,785名（9割以上が中高生） (2)中高生と連携・取組(地域交流活動、社会貢献活動、料理実習室の活用等) ②高齢者の仲間づくり、生きがいづくりの場 (1)認知症サポーター養成講座（39人）、(2)コグニサイズ講座（26人） (3)新規認知症サロンの立ち上げ支援「こいずみひだまりカフェ」 ③今後の展望 (1)子どもの読書活動の推進、図書を通して高齢者との会話づくり (2)子育て世代の応援、0-3歳児と保護者向け事業、仲間づくりの場を提供 (3)地域に密着したコンサートの実施 (4)次世代ボランティアの育成、自主的なボランティア活動の推進 (5)経験、スキルを活かした活動の機会、新規講師の発掘	期待以上 13点	①中高生が集まりやすい雰囲気づくりは小泉公民館の特徴のひとつである。図書室の整備だけでなく中高生が活躍できる機会を提供。引き続き公民館が、子どもたちの主体性を尊重した関わりを持ち、見守っていく存在であることを期待する。 ②高齢者の居場所作りに努め、サポートする体制づくりに着手。積極的に会話でのとコミュニケーションをとり、場合によって包括支援センターへ繋ぐなど取り組んでいる。 ③利用者に喜ばれる図書の選書、大活字本の導入、図書館との連携の強化等により貸出冊数は過去最大となっている。 ④小中学校との連携を進め、子どもとの交流促進、多世代交流、地域交流を推進に努めている。	13点
5	その他 （減点方式）	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする（遅れ・不備内容の程度により△1～△3点） 一部遅れ・不備あり(軽微)：△1、一部遅れ・不備あり(中程度)：△2、一部遅れ・不備あり(それ以下)：△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする（対応等の内容により△1～△3点） 指示等なし・対応等が期待どおり：減点なし、対応等が期待以下(軽微)：△1、対応等が期待以下(中程度)：△2、対応等が期待以下(それ以下)：△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし。	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点
								全体的な評価 ①中高生が過ごしやすい環境づくりや、学校や活性化委員会等との連携による見守りに取組み、地域が一体となって子どもたちの育成に努めている。 ②ワクワクまつり、地元アーティストのコンサートなど地域の主体性を伸ばし、あるいは地域を主役とする事業に取組み、地域の引き立て役としての支援が行われている。	**極めて良好**